



OSAKA JAPAN

..... 国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....

SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日 / 1990.2.27
事務所 / 〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場 / 新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日 / 毎週火曜日 12:30~13:30
会長:水谷善博 幹事:延秀恵 会報委員長:内田正

2011年4月26日 第995回例会(第994号)

本日の例会

今週の歌 「四つのテスト」

卓話 「これからの住宅」

AGCガラスプロダクツ㈱

山川英幸様

(田中(茂)会員紹介)

次回例会のお知らせ(5月10日)

卓話 「ロータリーソング勉強会」

栢本淑子会員

前回〔4月19日〕例会記録

来客

中谷牧子様

(卓話者・SIFE Japan カントリーリーダー)

別府達郎様(カンケンテクノ㈱取締役)

別府明子様(同 ご夫人)

森田晴夫君(京都東)

阪口章吾君(関西大学RAC)

森本伍一君(同)

川那辺啓太君(同)

会長の時間 水谷会長

皆様こんにちは。3月11日の東日本大震災の大津波が三陸海岸の町々をおそい壊滅的に破壊して行く様子をTV等で見て、皆様もショックを受けられていると存じます。1970(昭和45)年に、作家吉村昭

氏が『三陸海岸大津波』文藝春秋文庫版で出しており、その奥様の津村節子様、東日本大震災の義援金としてこの本の印税の全額を出すという事で増刷して本屋の店頭に出ていますので、一度お読みになれることをおすすめ致します。869年の貞観地震、1611年慶長三陸地震、1896(明治29)年明治三陸地震、1933(昭和8)年昭和三陸地震と大津波が来ており、その間に何回も小さな津波の来たことが記録されています。津波は自然現象であり、今後も、はてなくやって来ると記されています。これをよく理解して対策を十分取っていたならば、原発の津波対策も十分取っていて今のようにオタオタすることがなかったのではと思われ残念です。

昨日から、東北で自動車の生産が再開されたとのこと、関東自動車工業はトヨタのレクサスの主力工場、セントラル工業は米国向けの新車種の工場、今や東北はIC関係、マイコン関係部品工場も多く、

出席報告 田畑委員長

【4月19日】

在籍会員 40名(内出席規定適用免除者 9名)

出席会員 32名(内出席規定適用免除者 6名)

ホームクラブ出席率 86.49%

3月29日のMUを含む出席率 94.74%

関西大学RAC例会出席担当

5月12日(木)・5月26日(木)

Cグループ 金馬、西村、榎谷、栢本

田中(弘)各会員

会場:中央体育館 図書資料室

時間:19:00~20:00

私達は他人(ひと)を思いやり 奉仕の理想のもと 地域社会へ貢献するよう 努めます

世界的に影響が及びます。パンチ工業（金型）、ヒロセ電機は、産業用コネクタの世界企業です。岩手県は内陸部に工業と農業のバランスの良い食料自給率100%の県であるそうです。

幹事報告

延 幹 事

春の全国交通安全運動キャンペーンの案内

日 時：5月11日(水) 11:00~11:40

場 所：大阪城公園 大手門前広場

成松社会奉仕担当よろしくお祈いします。

地区ローターアクト地区年次大会の案内

日 時：5月15日(日)

本大会 10:30~17:00

懇親会 17:30~19:30

場 所：新阪急ホテル 2F

西上ローターアクト担当よろしくお祈いします。

本日例会終了後、ニコニコキャンプ実行委員会が、クラブ事務所で開催されますが、その前に臨時理事会を開催しますので今年度理事各位は例会場にお残り下さい。

ニコニコ箱

今 村 会 員 本日の卓話よろしくお祈い致します。私は欠席し申し訳ありません。講師の紹介は榎谷会員にお祈いいたしました。

東 会 員 未公認チャリティゴルフコンペでの皆様の浄財65,000円を義援金に寄付させていただきます。

本日分 10,000円

累 計 1,225,000円

卓 話

「SIFEの組織とその活動について」

SIFE Japan

カントリーリーダー 中 谷 牧 子 様

(今村会員紹介)

SIFE(サイフ)とはStudents In Free Enterpriseの頭文字をとった名称で、1973年米国で設立された大学生のリーダーシップ教育を目的とする非営利組織(NPO)です。ミッションを「ポジティブな経済の力を活用し、現在のビジネスリーダーと未来のビジネスリーダーが、一緒によりよい持続可能な世界をつくれるようにする」と定めています。活動は企業の寄付により支えられており、アジアでは2002年に中国で、日本は2005年より活動を開始しています。2011年現在世界で39カ国に拠点をもち、1,500大学、



48,000人の大学生が活動しています。

特徴は学生に社会貢献活動の実践を求めている点です。学生は大学ごとにそれぞれの問題意識に基づき、経済のコンセプトを用いて問題を根本から解決するアプローチで“プロジェクト”と呼ばれる活動を行います。学生たちはプロジェクトの実践を通じ、様々な世代や立場の人々とのコミュニケーションや、企画、立案、チームのマネジメント、リーダーシップを身につけていきます。この実践的取り組みは若者を成長させ、積極性、自主性を引き出していきます。

年に一度開催される国内大会では、活動の「成果」を競いあいます。大会の審査は主にビジネスマンが行い、その評価やアドバイスは次年度の活動への指針となっていきます。国内大会優勝チームは、各国の代表が集まるワールドカップに日本代表として参加します。2010年は滋賀大学が参加し、日本チームとして初めて、ベスト16という好成績を収めました。

SIFEには日本の学生の潜在能力を伸ばし、海外の同年代と切磋琢磨する舞台が用意されています。まだ参加大学は少ないが、日本の未来を担う人材育成の観点からも企業によるより多くの支援をいただき、広く大学教育に取り入れられることを願っています。

